

高齢者も子どもも みんなごちゃまぜ!!

-交流からはじまるつながりづくり-

2025.10.4 土

時間：14:30～17:00

会場：十文字学園女子大学
431教室

定員70名
参加無料

人が孤立することなく地域で支え合える地域共生社会の実現が掲げられています。
ふだんの暮らしの幸せには、あらゆる立場の人がごちゃまぜに集える身近な居場所が必要になります。

「ここに居ていい」とホッとできる場に出会うことで、人とのつながりに気づき、
少しずつ関わることから支え合える地域に近づいていくと思います。

本講座は、これまでの多世代交流の居場所づくりの実践研究を踏まえ、分野別ではなく、
ごちゃまぜの交流の場から支え合う仕組みづくりに紡ぐ必要性を理解する機会にします。

講師：押領司 賢二氏（和光市共生型福祉施設ひかりのさと施設長
和光市統合型地域包括支援センター長）

岩崎 隆氏（新座市 K1・北一の絆 楽しく、ささえて会）

西野 裕哉氏（デイサービス隣家）

佐藤 陽（人間福祉学科教授・ボランティアセンター長）

コーディネーター：佐藤 陽（人間福祉学科教授・ボランティアセンター長）

共催：人間福祉学科、ボランティアセンター、新座市内大学公開講座
協賛：彩の国教育の日協賛事業

【申込方法】 ※事前申込制

電話、または右のQRコードからお申し込みください。QRコードの場合、
「受付完了」の返信メールが即時に届きます。その時点で受付完了となります。

【電話でのお申し込み・お問い合わせ先】

十文字学園女子大学 社会連携推進課
TEL：048-477-0958(平日9:00～17:00)
〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

【会場アクセス】

JR武蔵野線「新座駅」から徒歩8分 ※駐車場のご用意はございません



アクセス



講師紹介

押領司 賢二氏 和光市共生型福祉施設ひかりのさと施設長
和光市統合型地域包括支援センター長

ソーシャルワークの養成教育団体における人材育成等への従事経験を踏まえ、グループホームや地域包括支援センターの他分野・他制度が混在する施設長を務めている。和光市の新たな試みとして、障害、こども、困窮を統合的に支援する統合型地域包括支援センターの長を兼ね、地域包括ケアシステムの他分野への展開に取り組んでいる。2023年には、世界保健機関(WHO)が政府関係者と施設見学に訪れ、分野に捉われない地域づくりの必要性を体験する機会をつくった。

岩崎 隆氏 新座市K1・北一の絆 楽しく、ささえて会 呼び掛け人代表

海外生活も長く国内外でビジネスマンとして活躍後、生涯学習をしながら地域活動に関わり、経験の知恵を得て、本会の呼び掛け人になる。異世代交流を含む地域の人々の楽しく安心できる居場所をつくり、互いを見守り支え合える人との絆を育むことを自らの成長の糧として尽力している。生活支援体制整備事業の第2層協議体を中心とする本会は、高齢者やこどもの関わり等、世代間交流のさまざまな活動を展開しており、2024年度内閣府「社会参加活動事例」に選ばれ、社会参加章を受章している。

西野 裕哉氏 デイサービス隣家 代表取締役

認知症の方の地域トラブルをきっかけに、理解を広げる活動に取り組む。地域の方々と日常的な関わりがもてるよう、社会参加の機会確保や役割意識の創出、多世代交流、地域で互いに顔の見える関係性づくりを目的に、高齢者だけでなく障害者やこどもをはじめ、学生や地域の人がつながるような活動を拡げている。新座市のACP普及啓発の活動や認知症初期集中支援チーム員としても活動しており、日本デイサービス協会「2024デイサービス5選」を受賞している。

佐藤 陽 人間福祉学科教授
社会連携推進センター副センター長 ボランティアセンター長

埼玉県福祉教育や地域福祉の推進に関する施策や人材育成に向けた研修等に携わり、「地域を基盤とする福祉教育推進プラットフォーム」や「シニアと共にコミュニティを拓く」実践研究を踏まえ、ボランティアセンターを基軸に「多世代交流を可能とする地域の居場所づくり」に取り組む。地域課題の解決に貢献する学生ボランティアグループ2団体の創設を支援し、地域福祉の施策推進とともに支え合う仕組みづくりの検証を試みている。